

情報公開用文書 (附属市民総合医療センターで実施する医学系研究)

(単施設研究用)

西暦 2021 年 10 月 27 日作成 第 1.1 版

研究課題名	精索静脈瘤に対する治療の有効性の後方視的検討
研究の対象	2012 年 4 月 1 日から承認日までに横浜市立大学市民総合医療センター 生殖医療センターを受診した精索静脈瘤患者さんのうち、初診時の年齢が 20 歳以上の男性を対象としています。
研究目的 ・方法	精索静脈瘤に対する薬物治療、外科的治療の有効性、安全性を検討します。本研究により精索静脈瘤に対して治療を受けた患者さんが、どれくらいの確率で、どれくらいの期間で精液所見が改善するのか、どれくらい精液所見が改善するのかといった具体的な情報を提示できるようになります。また、内服治療で精液所見が改善する群、外科的治療で改善する群をそれぞれ同定することができるようになれば、内服治療、外科的治療を選択する際の判断材料が増えるため、患者さんがより満足度の高い医療を受けられるようになります。
研究期間	承認日 (西暦 2021 年 5 月 26 日) ~ 西暦 2025 年 5 月 31 日
研究に用いる 試料・情報 の種類	以下の日常診療で実施された項目を本研究に使用します。 1)患者基本情報：年齢、性別、精索静脈瘤の部位 (みぎ、ひだり、両側)、身長、体重、既往歴、家族歴、内服歴、喫煙歴 2)精液検査 (精液量、精子数、精子濃度など) 3)血液検査 (白血球、赤血球等血液一般検査、ホルモン関連検査、肝機能、腎機能等) 4)治療内容 (内服治療では薬剤の種類、投与量、投与期間、外科的治療では術式と術中所見 (動脈・静脈・リンパ管の本数と径、癒着の有無)) 5)検査所見 (精巣・精索の身体所見・超音波データ、AZF 検査、染色体検査、血液) 6)精液中の活性酸素 (承認番号 B18060013：男性不妊症患者の残余精液検体を利用した精液中活性酸素 (Reactive oxygen species: ROS)測定と精子運動性、妊孕性の関連についての後方視的研究で取得済みの情報) 7)治療効果 (精液所見の改善、陰囊・鼠径部の疼痛を含む自覚症状) 8)患者さんからの申告による配偶者の受精、妊娠、出産の情報 9)有害事象
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話または FAX でお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p>	

情報公開用文書 (附属市民総合医療センターで実施する医学系研究)

(単施設研究用)

問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57

横浜市立大学附属市民総合医療センター 生殖医療センター (研究責任者) 竹島 徹平

電話番号: 045 - 261-5656 (代表) FAX: 045 - 253 - 1962